

# ふる～ぶ

吉野川ファン通信

VOL.87

2007/5

「ふる～ぶ」はフランス語 (fleuve) で海にそそぐ大河のことです。  
ひと、まち、自然、歴史、風景などの吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えします。



## 1 page [特集] 吉野川アラカルト

### 吉野川の渡しの説明板と 標柱ができました

～バスツアーに参加～

吉野川流域の渡し場跡に設置された説明板と標柱。  
3月3日、「吉野川歴史探訪バスツアー」に同行し、  
渡しの歴史や役割、魅力について話を聞きました。

## 3 page 吉野川いまむかし 善入寺島編 PART1

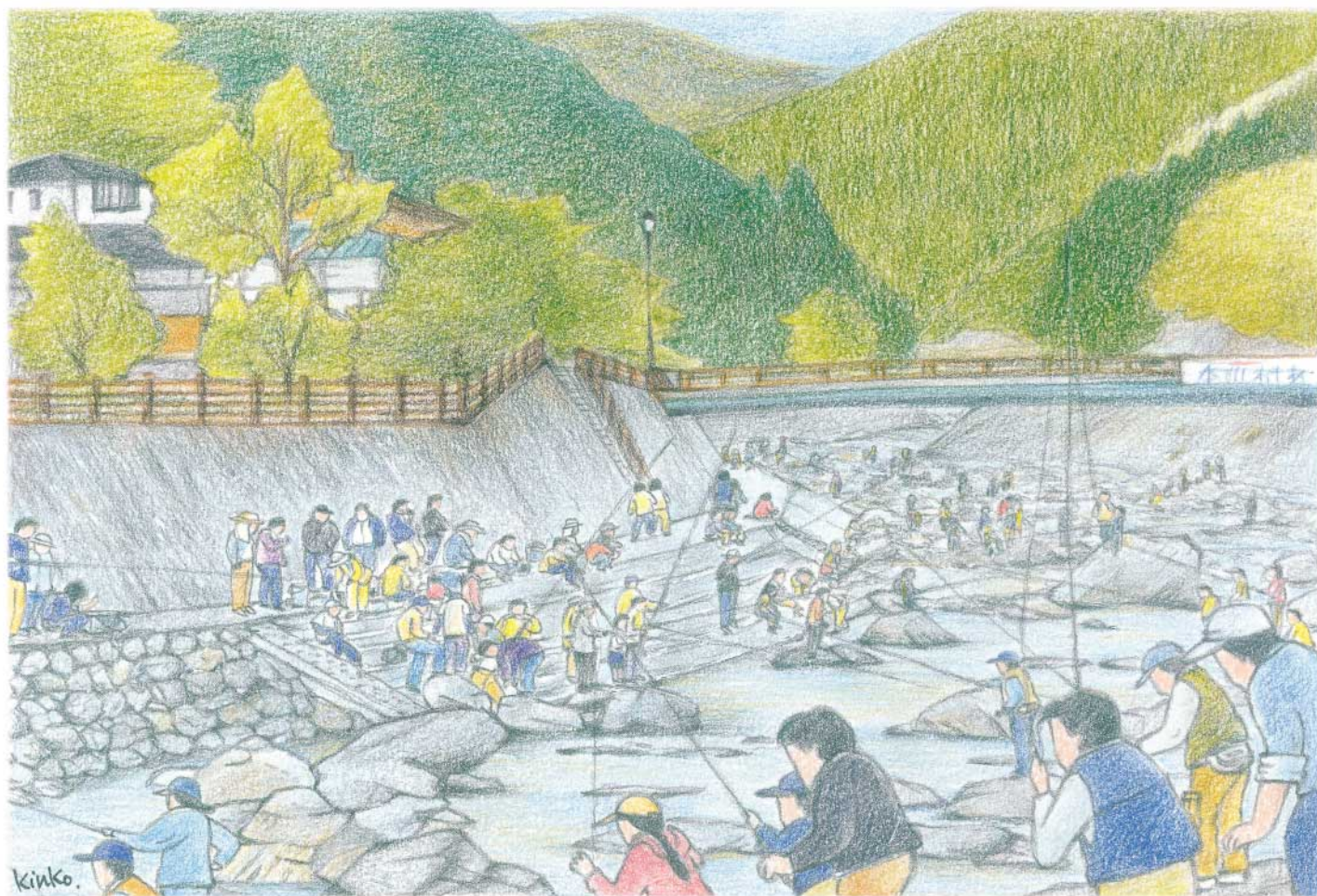
## 4 page ふる～ぶ編集部がおじゃましま～す! 穴吹小学校 地域の方々の愛情につつまれて

## 5 page ふる～ぶめいと通信 友情の滑走路

## 6 page Ra♪Ra♪Ra♪エッセイ ローズマリークッキーを焼きましょう! ふる～ぶINFORMATION もうお持ちですか? 小冊子『歩いてなんぼじゃわ～』

## 7 page よりよい吉野川づくり<第24回> 「吉野川現地(フィールド)講座」の 開催結果について

ふる～ぶひ・ろ・ば  
編集後記・今月の表紙イラスト・プレゼント



# 吉野川の渡しの説明板と 標柱ができました ～バスツアーに参加～

川の兩岸をつないでいた渡し。橋や鉄道がない時代、船は重要な交通手段でした。

徳島県内の吉野川と旧吉野川沿いには117カ所の渡しがあり、

人やモノだけでなく、文化を運び役割も果たしていました。(長原渡しは現存)

徳島河川国道事務所と、吉野川流域市町では、渡しの歴史や役割などを多くの方々に知っていただく

24カ所の渡し跡で、説明板と標柱の設置にとりかかっています。

今回は3月3日に開催された「吉野川歴史探訪バスツアー」に同行し、

渡しの魅力について話を聞きました。



四国のみずべ八十八カ所 美濃田の洲とみずべ

## 3月3日(土) 曇りのち晴れ

35名が参加し歴史探訪バスツアーが行われました。今回は「四国のみずべ八十八カ所」と吉野川の渡

山渡し」跡→「大具の渡し」跡→美濃田の洲→貞光ゆうゆう館のみずべ「喜来渡し」跡を巡りました。今回のコースすべてが、初めて訪れる場所という方もいて、みなさん興味津々です。「1人で訪れてもどんな背景があるのかわからないので、今日の歴史探訪で徳

てみたい」など応募した動機もさまざま。三好市文化財保護審議会委員の大岩義雄さん、旧三好町の元助役・土井義弘さん、吉野川渡し研究会の山地武彦さんから解説が行われ、みなさんからは積極的に質問があり、メモをとりながら説明を聞く姿も見られました。



三好市池田・諏訪神社

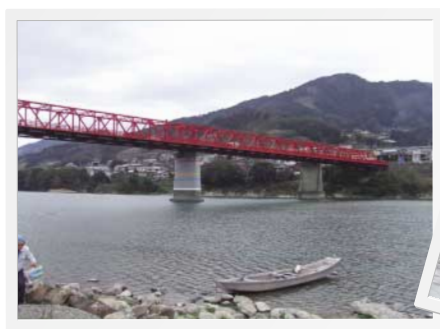
し跡をめぐり、それぞれの専門の方々にお話を伺うというもの。

三好市諏訪神社→池田湖「西



西山渡し跡

島や吉野川の歴史を知りたい」「美濃田の洲がどこなところか知りたい」「みずべ八十八カ所に行っ



大具渡し跡・・・三好市池田町と井川町を結ぶ三好大橋のすぐそばにある渡し跡。吉野川で初めて川のフェリーポートといわれた岡田式渡船を導入しました。

## 渡しの標柱・説明板設置計画



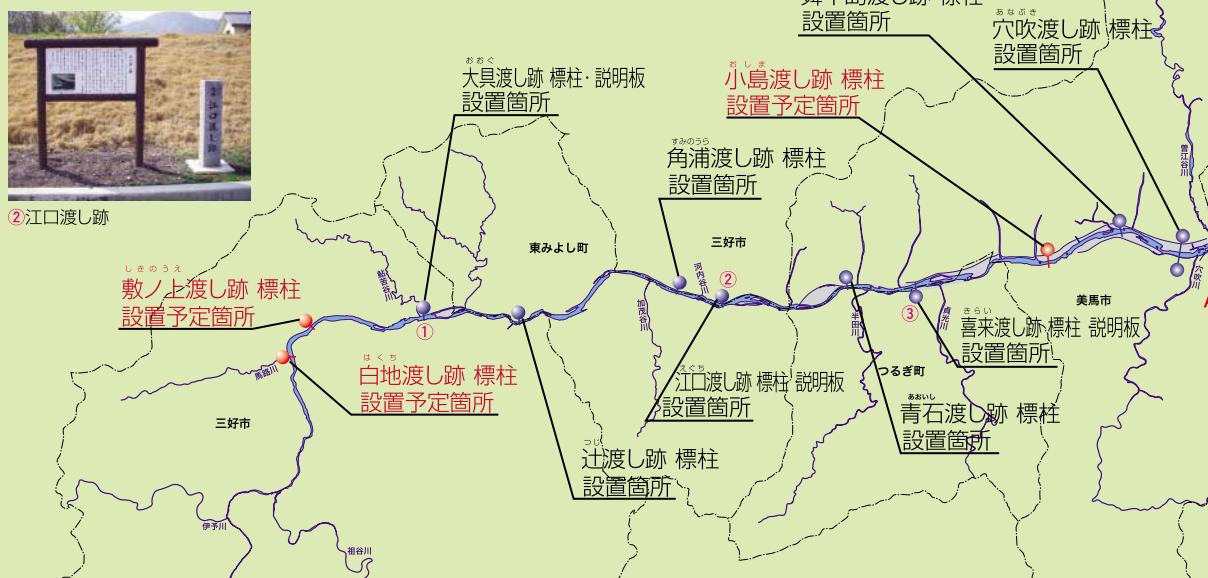
① 大具渡し跡



② 江口渡し跡



③ 喜来渡し跡



## この人インタビュー

吉野川、特に渡しの研究、研究がライフワークとなっている山地さん。今回のバスツアーで、渡しについての解説を行いました。山地さんが渡し舟そのものに興味を持ち研究を始めたのは昭和54年頃から。昔、吉野川のどこかの渡し舟に仕事の帰りに乗せてもらった時のことが忘れられず、独自で徳島市や脇町などに出かけ、渡しの研究を始めました。研究を始めた頃に出会ったのが、徳島県立博物館友の会で、現在、同じ吉野川渡し研究会会長として活動している寺戸恒夫さん。7人のメンバーで、2年がかりで吉野川の渡しを調査し、「吉野川の渡しガイドブック」を作成、編集。「渡し」のパネル展を平成18年2月～3月に開催しました。書籍からだけでなく、



「喜来渡し」跡で説明をする吉野川渡し研究会の山地武彦さん。「渡しを研究すると川が生活に密着していることがよく分かります」と話していただきました。

一般の商人などが、自由に営業活動をし、渡しを運営していたこと。他の地方では渡しは数多くあっても官営が多く、個人で渡し経営をしている場所は少ないのだとか。阿波が商人の町であること、また、阿波の人々の大らかさがわかったそうです。数多くある渡しのなかでも個人的に特に面白いと思うのが、古川舟渡し。現在かかっている吉野川橋の近くにあったこの渡し場は、古くからあったうえに江戸時代初期に幕府から発行された絵図にも記載され、古川舟

地元の方々に取材を重ね、研究会で情報を収集しました。

吉野川の渡しの魅力は、藩政時代から公的機関だけではなく、

渡しがあった上助任から対岸まで、朱線が記載されています。こういったことから、淡路街道（淡路官道）として主要な道路であったことがわかるそうです。渡しの事だけでなく、街道とつながっていることや、そこに住んでいた人々の生活や町の移り変わり、歴史が見えてくることなど、それぞれの渡しに数え切れないほどの発見と魅力があるそうです。今後もパネル展を行い、3冊目となる吉野川の渡しガイドブックを発行したいと思っている山地さん。<sup>\*</sup>岡田式渡船の集大成も作成したいと考えているようで、これからも研究が続いていきます。

### ※岡田式渡船

岐阜県の岡田只治氏が、明治30年頃に考案した。両岸に高い支柱をたて、ワイヤーと滑車を使い、流れに沿って自動的に対岸へと渡っていくもの。



喜来渡し跡……三頭峠から讃岐の街道に通じる渡し。大正3年（1914）鉄道が池田まで開通し、真光駅に近かったことから多くの人々が利用し、対岸の美馬町の寺町にお参りに行く人々も数多く利用しました。

## バスツアーを終えて

参加者のみなさんから「長い歴史の足跡、由来等詳しく説明していただき、徳島の母なる吉野川の一端に触れて大変よかった」「池田湖、美濃田の渚など吉野川にこれだけの渡しがあると信じ

んでした。今後吉野川について勉強したい」「吉野川の水を見て徳島には自然がいっぱいある事に気づきました」「徳島の基本ともいえる渡し跡を見学させていただいて、昔をなつかしく思い出しました。現在は橋になり時代の流れを感じました」などの感想をいただきました。これから吉野川、旧吉野川・今切川沿いに、説明板と標柱が建てられることで、より渡し場があった周辺のこ

とが分かり、具体的なイメージもわいてきます。みなさんも是非、吉野川流域に出かけて、昔の歴史や人々の生活などに思いをはせてみませんか。

美濃田の渚では、遊覧船に乗船し、岩にまつわる話や伝説などを、船頭さんから聞くことができました。辻の渡し跡も眺めることができます。



④大寺渡し跡



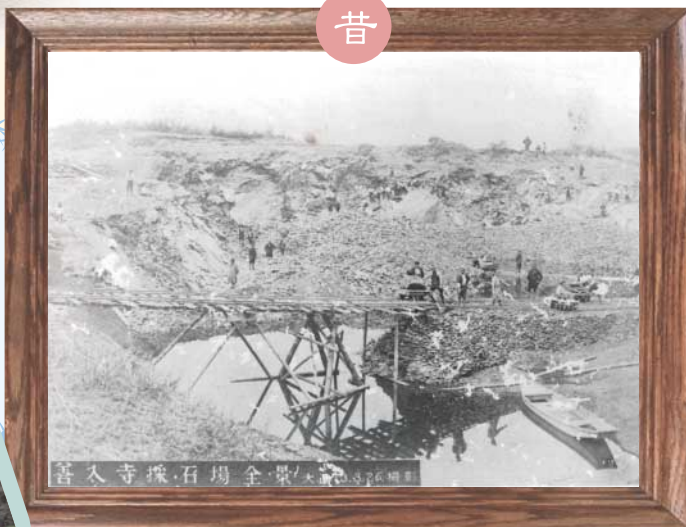
⑤名田の渡し跡

# 善入寺島編 PART 1

## 吉野川 いま むかし

このコーナーでは、吉野川の  
今と昔の写真を見ることによって、  
ふるき時代をみつめ、  
未来の吉野川を創造します。

昔



善入寺採石場全景(大正6年)

今

竹藪が生い茂り、  
現在は、池になっています。

昔



今

中西裁縫塾

写真には、大正6年 中西裁縫塾の記載があり  
ます。

名前のとおり、女性たちの裁縫技術向上のた  
めの学校だと思われます。

卒業式でしょうか？みんなあら  
たまった表情をしています。裁  
縫は、女性のたしなみだったの  
でしょうね。

このほか善入寺島には、藍で財  
をなした島の豪農が、広大な屋  
敷の一部を利用して、儒学者  
佐藤香雪を招いて開いた佐藤  
香雪塾などがありました。

昔



昔



今



栗島小学校があった場所に、  
静かにたつ栗島尋常小学校跡。



吉野川採石場跡

大正3年3月と記載があります。  
場所は、善入寺島宮島八幡宮跡付  
近。八幡宮では、岩石の丘陵上に  
あり、大洪水でも水没すること  
はなかったので、洪水時には、島  
民の避難場所となっていました。

昔

栗島尋常小学校

[VOL21再掲載／年代不明]

後ろの黒板には、三月二十  
八日 午前九時證書授与式  
との文字があるので、卒業  
式の写真と思われます。

# ふる~ぶ 編集部が おじゃまします!

## 吹 穴小学校 の巻

吉野川の支川、穴吹川が流れる美馬市穴吹町。その四国一の清流との呼び名もあるこの川の近くに、穴吹小学校は、あります。

全校生徒は、146人。穴吹小学校の学習目標のひとつに、地域の人々に、学び、交流しようというテーマがあり、総合的な学習のテーマでも、【3年生】：紹介しよう。私たちのまち穴吹【4年生】：四国一の清流「穴吹川」を守ろう【5年生】：おいしいお米を作ろう【6年生】：バリアフリーってなんだろうと地域に根ざしたテーマで学習しており、自分たちの住むふるさとへ出かけていき、さまざまなことを調べたり、地域の方々に先生になっていただいたりと、まさに、学習目標のそのままの学習をしています。

取材日の、2月19日は、ぽかぽかとした日。この日は、地域の方々と交流の一環として、6年生が、穴吹地区婦人会の12名の皆さんの指導のもと、お団子づくり体験です。

朝早くからきてくださった皆さんは、まず1年生から5年生の分を作ってください、その後、6年生が体験する生地と、まるめたあんをグルー

## 「地域の方々の愛情につつまれて」

プごとに分けて準備。いよいよ体験スタートです。小麦粉をつけて、生地を伸ばし、そこに丸めたあんを入れていきます。担任の山口先生によれば、クラスの3分の1の児童は、お団子づくりをしたことがあります。そのほかの児童は、初めてだそう。「ちょっとねばねばしたけど、楽しかった」「あんを包むのが、むずかしかった〜」「地域の人に教えてもらって、なんかいい!!」など、感想はさまざま。小さいお団子、大きいお団子、さまざまな形ができあがりました。

できあがったお団子をみんなで試食。婦人会の皆さんの子どもたちを見る目も、やさしさにあふれ、子どもたちを大切に思っていることが分かります。総合学習担当の松田先生が、「このような地域の方々と交流は、地域の方々に、子どもたちの顔を覚えてもらうという意味もあります。道であつたら、声をかけてくれ、温かいまなざしで、見守ってくださっているのを感じています。子どもたちは、地域の方々に支えていただきながら、育てていただいています」との言葉が、心にしみじみとしみて、調理室は、みんなの笑顔とお団子の湯気で、ますますぽかぽかとなりました。

「この子どもたちが、すくすくと育ち、また、次の世代に今日の体験を伝えてくれたら」そんなことを思いながら、学校を後にしました。



穴吹地区婦人会の皆さんと6年生。(現在は卒業しています。)



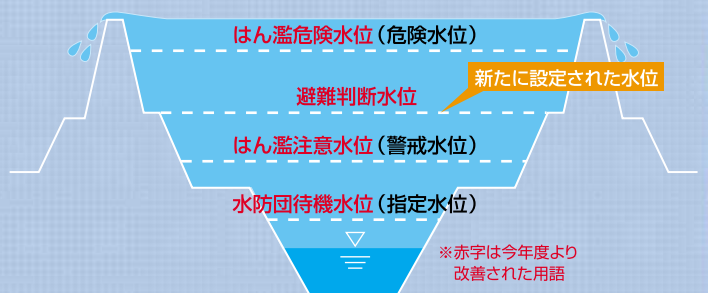
## 吉野川 三 辞典

### 二 洪水予報

洪水に際し、洪水によるはん濫被害が発生するおそれがあると認められる時は、その状況を国土交通省と、気象庁が合同で、関係行政機関・放送機関・新聞社などの協力を得て、水防団や地域住民の方々へ、情報を提供するものです。

吉野川では、池田、岩津、中央橋、第十と四ヶ所の水位観測所のうち、池田と岩津が洪水予報基準観測所になっています。この二ヶ所で、「氾濫のおそれがある水位」である危険水位に達する予測がされた時、または、新たに設定された避難判断水位を越え、さらに水位上昇する時に、徳島河川国道事務所と徳島地方気象台が共同で、テレビなどにより、吉野川洪水予報(警報)を発表します。

吉野川洪水警報は、近年では、流域に甚大な被害をもたらした平成16年台風10号、台風16号、台風21号、台風23号、平成17年台風



14号の際、発令されました。

なお、河川管理者から提供される防災用語が分かりづらいということから、洪水の危険レベルを分かりやすい表現に改善し、市町村や住民のとりべき避難行動との関連が分かりやすいよう、今年度より用語の改善を行っています。



「ふる〜ぶめいと」は、  
吉野川が大好きな  
人たちの集まりです。

「ふる〜ぶめいと」の活動は、吉野川や吉野川流域に関する身近な情報を「ふる〜ぶ」に提供することにより、  
吉野川に親しみや、関心を持っていただいて、吉野川ファンの輪を広げていただくことを目的としています。

## めと レポート

### 友情の滑走路

つるぎ町 大塩 邦光さん

昭和35年11月17日午後4時44分、美馬  
市喜来の吉野川の河原に「ガラ、ガラ、ザー」という

ものすごい音をたてて双発大  
型飛行機が不時着した。この  
飛行機は岩国基地から厚木  
基地に向かう米海軍の輸送  
機で7人が乗り組んでいた。  
当日は小雨が降り全天が  
雲で覆われていた。通  
信機能を失った飛行機  
は現在位置が不明で、

山に激突する寸前、雲の間から吉野川の河原を  
みつけ、不時着をした。機体は少しの破損であったの  
で、その後、完全修復をするこ  
とができた。

23日後には住民や地元  
建設業者の協力で鉄  
板やむしろがひか  
れて、河原に「友

情の滑走路」が完成し、その4日後には当時の新聞  
によると3万人が見送る中、巨大な輸送機は轟音を  
とどろかせながら無事大空に舞いあがった。

現在は堤防がつくられて当  
時をしのぶことはできないが、  
平成16年新たに堤防下に記念  
碑が建てられ、「友情の滑走路」  
のドラマはいつまでも語り続けら  
れている。



現在の美馬市喜来の  
吉野川の河原



米海兵隊岩国航空基地の標章



友情の滑走路について書かれた  
「国際親善さきがけの碑」

## ハーブ農園 からの風

このコーナーでは、「ふる〜ぶめいと」の黒川慶子さんにハーブの楽しみ方を中心に、食と健康、水の大切さなどについて語っていただきます。楽しいレシピなども登場しますよ。

ローズマリークッキーを  
焼きましょう！

**A**  
◆薄力粉……………80g  
◆アーモンドプードル……………20g  
◆ベーキングパウダー……………4g

◆無塩バター……………25g  
◆グラニュー糖……………20g  
◆塩……………少々  
◆ココナッツ……………30g  
◆卵……………20g  
◆牛乳……………25cc  
◆ショートニング……………8g  
◆ローズマリー……………適量

材料  
15個分

### 下準備

【1】バターを室温に戻しておく。

【2】ココナッツをフードプロセッサーなどにかけて細かくしておく。

【3】ローズマリーは軸から葉っぱを外しておく。大きいものは、細かくしておく。

【4】天板にオーブンペーパーを敷いておく。

### 作り方

【1】ボウルにバターとショートニングを入れて、泡だて器でクリーム状にし、グラニュー糖、塩を入れてよく混ぜ合わせる。

【2】【1】に溶きほぐした卵、牛乳を



加えてよく混ぜる。**A**をふるいながら加え、木べらでさつくりと混ぜ、ココナッツとローズマリーを加えて混ぜ合わせる。  
【3】カードなどを使って練らないように丸くまるめ(15等分にしたもの)、間隔をあけて天板に並べる。  
【4】160℃に温めておいたオーブンで25〜30分焼く。

頭脳を明晰にし、老化を防ぐともいわれているローズマリーを使ったクッキーは、甘くなくサクサクとした食感が楽しめます。食欲がない、やる気が起こらない時などに1個召し上がってみてください。

### 【黒川慶子さん経歴】

ハーブコーディネーター  
板野町でハーブ農園を営む。  
食と健康について、講演も務める。  
徳島県薬草協会会員  
上板町薬草協会会員

## ふる〜ぶ INFORMATION

### もうお持ちですか？ 小冊子『歩いてなんぼじゃわ〜』

四国地方整備局「四国のみずべ八十八カ所」実行委員会では、「四国の特性を活かし21世紀に残したい水空間、地域が誇ることのできる水辺空間の演出」をメインテーマとして「四国みずべの八十八カ所」を募集いたしました。

平成13年9月1日から平成14年9月30日の1年間にわたる募集期間で、1653人の方から、ご応募をいただき、平成15年2月に「四国のみずべ八十八カ所」を選定いたしました。

「四国のみずべ八十八カ所」実行委員会徳島部会では、「四国のみずべ八十八カ所」の「認知度を高める活動」の一環として、徳島のみずべ21カ所を取り上げた小冊子『歩いてなんぼじゃわ〜』を作成しました。この小冊子は、「四国のみずべ八十八カ所」実行委員会徳島部会の学生委員が、実際に徳島県内のみずべを歩き、オリジナル散歩コースとして、作成したものです。

その中身は、歩いてみつけたみずべの魅力情報、オリジナル散歩コースを実際に歩いた歩数と、消費カロリー数を記載。みずべを楽しみながら、健康づくりができる内容になっています。(糖尿病の死亡率が全国でワースト1の徳島県。運動不足解消のみちしるべになればという思いがあるそうです)

この冊子は、県内の国土交通省各機関、徳島県庁、道の駅などで配布しています。



【お問い合わせ】  
徳島河川国道事務所 地域連携課  
TEL 088-654-9175

## 「吉野川現地(フィールド)講座」の開催結果について

国土交通省徳島河川国道事務所では、「よりよい吉野川づくり」を目指し、流域住民のみなさんと行政が相互に信頼関係を築きながらじっくり話し合う取り組みを実施中です。そのため、国土交通省の職員等が流域住民の皆さんに対し、吉野川のすがた、各種調査、各種施設などを現地(フィールド)にて説明等を行い、情報の共有を図る「吉野川現地(フィールド)講座」を実施しています。

「吉野川現地(フィールド)講座」は国土交通省(徳島河川国道事務所・四国山地砂防事務所・吉野川ダム統合管理事務所)及び徳島県との共同で開催しています。平成18年度は以下の5回の講座で延べ171名の参加者がありました。今年度もフィールド講座は開催されます。日程などが決まりましたら、ふる～ぶで紹介しますので、みなさんは是非ご参加ください。



**1回目** 平成18年7月29・30日  
◆分 野/治水  
◆参加人数/47人

### 川から災害復旧箇所を見てみよう!

平成16年に発生した台風10号、16号、21号、23号による出水により、堤防等の河川管理施設が被災したことから、早期に住民の安全・安心を回復すべく吉野川、旧吉野川等で直轄河川災害復旧事業を実施しました。災害復旧箇所を川の中から見ていただくことにより、河川管理施設の重要性を再認識していただきました。



**2回目** 平成18年10月28日  
◆分 野/治水  
◆参加人数/30人

### 景観に配慮した砂防事業

徳島県の観光名所である「かずら橋」の観光拠点となる「かずら橋夢舞台」の近くにあり、周辺景観にも配慮した砂防事業及び全国でも有数の破碎帯地すべり地帯となっている善徳地区の地すべり事業の見学をしていただきました。



**3回目** 平成18年11月11日  
◆分 野/治水・利水  
◆参加人数/45人

### 吉野川の洪水・渇水とダム役割

平成17年は、6月からの少雨により大渇水となり、平成16年は戦後最大の洪水が発生しました。池田ダム・早明浦ダムを見学し、ダムの働きについて学んでいただきました。



**4回目** 平成18年11月25日  
◆分 野/治水  
◆参加人数/14人

### ポンプ場(排水機場)と漏水対策の工事現場を見てみよう!

吉野川流域の皆さんに角ノ瀬排水機場新設工事、漏水対策工事及び指谷川排水機場を見学いただくことにより、治水事業に関する情報を共有しました。



**5回目** 平成19年3月3日  
◆分 野/一般  
◆参加人数/35人

### 吉野川歴史探訪

「よりよい吉野川づくりに向けて」の考えに沿った吉野川現地(フィールド)講座として、また平成15年に選定された「四国のみずべ八十八カ所」の周知活動の一環として、吉野川の歴史・文化についての知識を深めるため吉野川歴史探訪バスツアーを開催しました。

## ■吉野川現地(フィールド)講座 問い合わせ先

徳島河川国道事務所 用地第三課  
TEL:088-654-9153 FAX:088-654-9177  
HP:<http://www.toku-mlit.go.jp>  
Eメールアドレス:tokusa37@skr.mlit.go.jp

## ■フィールド講座 申込方法

### 1 募集

新聞、チラシ、ホームページより参加者の募集を行います。

### 2 徳島河川国道事務所に申込む

「吉野川現地(フィールド)講座」申込書に必要事項を記入し、郵送、FAX、電子メールまたはハガキで申込みください。

### 3 参加者の確定

講座毎の定員に対し、参加者を抽選で確定し、申込者にハガキでご連絡いたします。

### 4 講座の実施

現地(フィールド)でテーマについて説明します。

よりよい吉野川づくり 吉野川水系河川整備計画については  
<http://www.yoshinoriver.info>

### ふる～ぶ編集後記



歴史探訪バスツアーでは、渡し跡や「四国のみずべ八十八カ所」などを訪れ、美しい景色や、渡し歴史などにふれることができました。みなさんゴールデンウィークのお出かけの場所としてもおすすめです。(や)

渡し跡にたつ碑。その前に立つと、「さわ、さわ、さわ」当時の人々のさわめきが聞こえてくるような気がします。人だけでなく、いろいろなものを運んだ渡し。読者の皆さんも、近くを通らしたら、立ち寄ってくださいね。(か)



### 「四国のでっぺんあめ釣大会」

毎年恒例の、いの町で開催されている四国のでっぺんあめ釣大会。今年も5月5日に釣り大会の他、子どもたちを対象にあめ釣のつかみどりも行われます。周辺では山菜まつりも開催されます。

問い合わせ先:いの町本川漁協共同組合  
TEL: (088) 869-2777



### 亥の干支スレセント

佐藤潔さんが吉野川の竹を使って作った亥の干支竹細工を抽選で2名様にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキまたはFAXに住所、氏名、電話番号、誌面の感想もお書きください。締切は5月31日(木)です。  
〒771-1156  
徳島市応神町応神産業団地13-28  
ふる～ぶ編集部 竹細工プレゼント係

